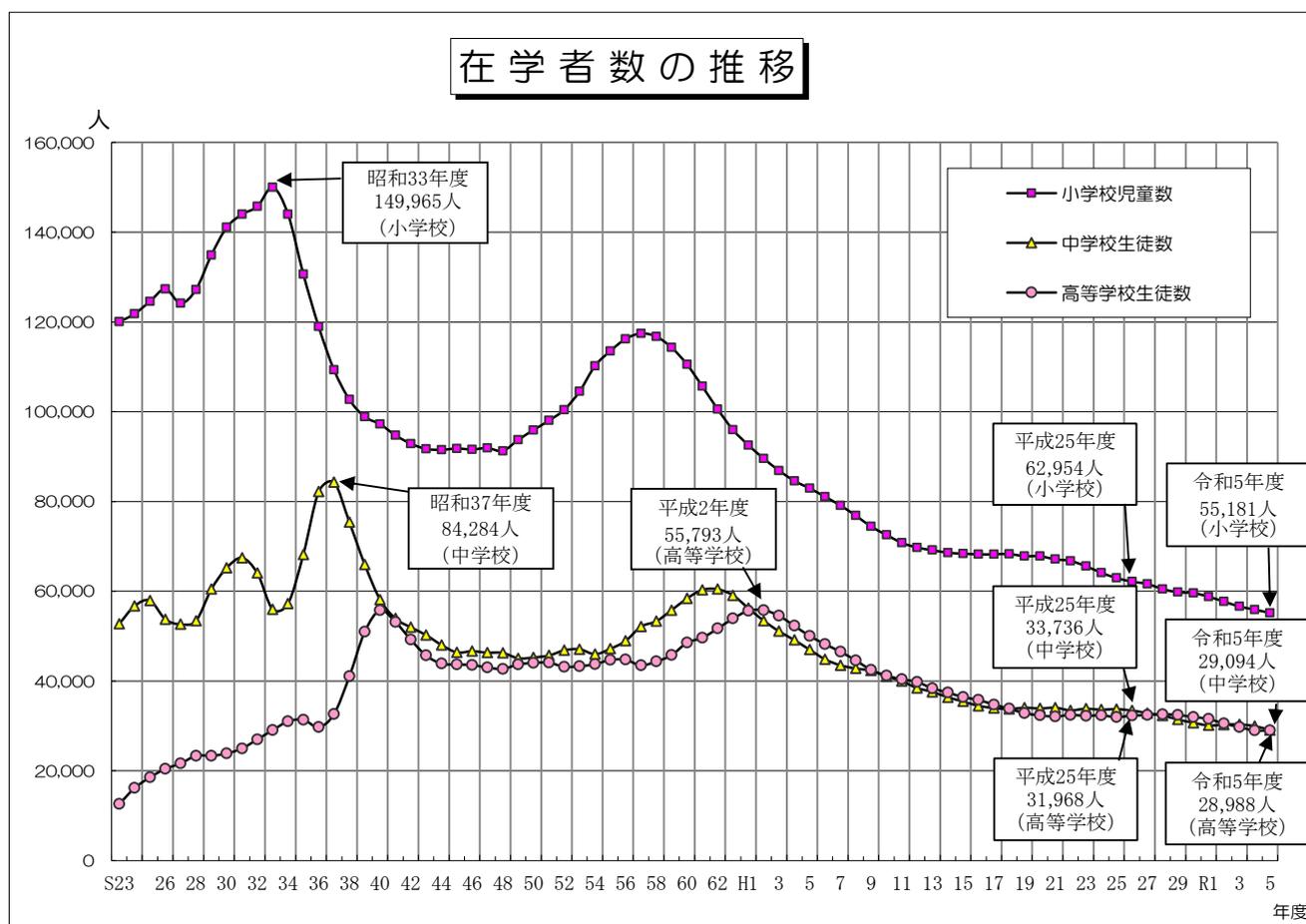


令和5年度「学校基本統計速報（学校基本調査の結果速報）」の概要 (令和5年5月1日現在)

- 本調査は、文部科学省の統計調査で、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、昭和23年度より毎年実施しています。
また、全国版については、文部科学省のホームページで公表されています。
- 速報における公表項目は、学校数、学級数、在学者数及び教員数とします。
なお、卒業後の状況調査結果を含めすべての項目の集計結果については、令和6年1月に確報値として公表する予定です。

令和5年度学校基本調査による小学校・中学校・高等学校の在学者数の推移は、下図のとおりである。

- ・ 小学校の児童数は55,181人で、前年度より742人減少し、17年連続の減少、過去最少を更新した。
最多時（昭和33年度）の36.8%
- ・ 中学校の生徒数は29,094人で、前年度より856人減少し、2年連続の減少、過去最少を更新した。
最多時（昭和37年度）の34.5%
- ・ 高等学校の生徒数は28,988人で、前年度より14人増加し、7年ぶりの増加となった。
最多時（平成2年度）の52.0%



主な調査結果

学校調査

1 小学校

小学校の児童数は前年度より742人減少し、17年連続の減少、過去最少を更新。10年前（平成25年度）に比べ12.3%減

- (1) 学校数は202校で、前年度と同数である。
- (2) 学級数は2,543学級で、前年度より19学級増加している。
- (3) 児童数は55,181人で、前年度より742人減少している。この児童数は過去最多時（昭和33年度）の36.8%である。また、10年前に比べ12.3%減である。

2 中学校

中学校の生徒数は前年度より856人減少。過去最少、2年連続の減少である。10年前（平成25年度）に比べ13.8%減

- (1) 学校数は90校で、前年度より1校増加している。
- (2) 学級数は1,040学級で、前年度より25学級減少している。
- (3) 生徒数は29,094人で、前年度より856人減少している。この生徒数は過去最多時（昭和37年度）の34.5%である。また、10年前に比べ13.8%減である。

3 義務教育学校

義務教育学校の児童生徒数は前年度より9人減少

- (1) 学校数は3校で、前年度と同数である。
- (2) 学級数は25学級で、前年度より2学級減少している。
- (3) 児童生徒数は271人で、前年度より9人減少している。第1学年から第6学年までの前期課程が172人、第7学年から第9学年までの後期課程が99人となっている。

4 高等学校

(全日制・定時制)

高等学校生徒数は前年度より14人増加し、7年ぶりの増加
10年前（平成25年度）に比べ9.3%減

- (1) 学校数は56校で、前年度と同数である。
- (2) 生徒数は28,988人で、前年度より14人増加している。このうち全日制本科の生徒数は28,247人で、前年度より1人増加している。

5 高等学校

(通信制)

- (1) 学校数は2校（全日制併置校1校、独立校1校）で、前年度と同数である。
- (2) 生徒数は1,117人で、前年度より101人増加している。

6 特別支援学校

特別支援学校の在学者数は前年度より25人増加し、過去最多を更新。

- (1) 学校数は13校で、前年度と同数である。
- (2) 在学者数は1,364人で、前年度より25人増加している。

7 幼稚園

- (1) 園数は43園で、前年度より2園減少している。
- (2) 在園者数は3,578人で、前年度より464人減少している。

8 幼保連携型 認定こども園

- (1) 園数は165園で、前年度より4園増加している。
- (2) 在園者数は19,120人で、前年度より240人増加している。

9 専修学校・ 各種学校

- (1) 学校数は、専修学校が36校で、前年度と同数、各種学校が19校で、前年度より1校減少している。
- (2) 生徒数は、専修学校が4,791人で、前年度より1人増加、各種学校が3,936人で、前年度より173人減少している。